

お正月の思い出

古瀬 妙子

十二月になるとお正月に履く下駄(色の付いた塗り下駄)を買ってもらい、友達同士で見せ合うのがとても楽しみでした。

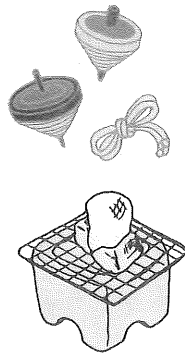
一月元旦には着物と袴、それに新しく買ってもらった下駄を履いて学校に行き新年の挨拶をした後、校長先生から天皇陛下のお言葉を讀んでもらい、先生のピアノ伴奏で「年の初め」を大きな声で歌い、ノートをもらって帰りました。

その頃のお正月は雪が沢山降り、朝早くから親たちが雪をかいてくれて、細いつり橋を渡って学校に通っていました。そのつり橋にはすき間があり、下の川が見えて、今思えば大変危険な思いをして学校に通っていたと思います。

当時は一軒に子供が五、六人居るのが普通だった時代で、子供でも家の仕事を手

伝ったり弟や妹の子守りもさせられました。

雪が降ると兄たちが作ってくれたソリで遊び、遊び疲れると家に戻り囲炉裏でお餅を焼いて食べて、お腹がふくれると再び外に遊びに行きました。おやつと言えば、自家製の干し柿や栗でした。お正月が来るたびに子供の頃を思い出します。



お誕生おめでとう

今年の目標

佐々木 幸栄

私は右足に力が無く、左足に比べると少し短いため自分で歩くことができませんでした。

木曾病院のリハビリの先生に見てもらい、木曾寮の看護師さんに手伝ってもらって歩く練習を始めました。

以前は、自分の部屋まで車椅子で迎えに来てもらい、ベッドから車椅子へ移るのがやっとでした。支援員さんに車椅子を押してもらって食堂やお風呂に行っていました。新しい養護に移ってからは、二本の手すりの間を歩く練習を始めました。

足の長さを揃えるために新しい靴を注文してもらい、毎日二本の手すりの間を、午前中に二往復、午後に二往復歩いていきます。その間看護師さんや支援員さんに見守ってもらっています。

今は部屋の中にポータブル

トイレを置いていますが、車を押しながらも歩けるようになれば自分でトイレに行きたい。それと大好きな寿司やうどんを食べに行きたいです。



仲良し4人組



今年の収穫(じゃがいも)